

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 63303266 A

(43) Date of publication of application: 09.12.88

(51) Int. Cl

F16J 15/08

(21) Application number: 62134959

(22) Date of filing: 01.06.87

(71) Applicant: NIPPON RIIKURESU KOGYO KK

(72) Inventor: NAGAMACHI SADAO
KOBAYASHI MASAAKI
MATSUSHITA YOSHITAKA
KUBOTA HIDEHARU

(54) METAL GASKET

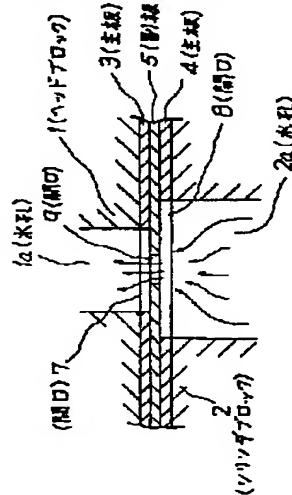
(57) Abstract:

etc., can be prevented.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

PURPOSE: To prevent the generation of engine trouble by allowing the opened port on a directly joined main plate to nearly coincide with the opened ports on a cylinder head and a cylinder and forming the opened port on a subplate interposed between the main plates smaller than each opened port.

CONSTITUTION: The opened port 7 of a main plate 3 directly jointed with a cylinder head 1 is allowed to nearly coincide with the opened port 1a of the cylinder head 1, and the opened port 8 of a main plate directly joined with a cylinder 2 is allowed to nearly coincide with the opened port 2a of the cylinder 2, and only the opened port 9 of a subplate 5 inserted between the main plates 3 and 4 is formed smaller than each opened port 7, 8. Therefore, the main plate 3 on the cylinder head 1 side and the main plate 4 on the cylinder 2 side are hardly exposed into the opened ports 1a and 2a such as water holes in the prior art. Therefore, the exfoliation of the sealant coated onto the main plates 3 and 4 can be prevented, and the generation of engine trouble such as overheat due to the circulation of the sealant with cooling water and adhesion onto a thermostat, radiator,



⑪ 公開特許公報 (A)

昭63-303266

⑤Int.Cl.⁴
F 16 J 15/08

識別記号

庁内整理番号
A-6673-3J

⑬公開 昭和63年(1988)12月9日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 金属ガスケット

⑫特願 昭62-134959

⑫出願 昭62(1987)6月1日

⑬発明者 長町 定雄 埼玉県浦和市三室西宿1474-9
 ⑬発明者 小林 正明 埼玉県大宮市大谷1676-2
 ⑬発明者 松下 義孝 埼玉県浦和市木崎1-5-32
 ⑬発明者 久保田 秀晴 埼玉県浦和市大東1-2-16
 ⑭出願人 日本リークレス工業株 東京都港区西新橋2丁目33番8号
 式会社
 ⑭代理人 弁理士 杉村 晓秀 外1名

明細書

1. 発明の名称 金属ガスケット

2. 特許請求の範囲

1. 複数枚の金属板を重合してなる金属ガスケットの水孔または油孔等の開口部において、シリンドヘッドと直接接合する主板の開口をシリンドヘッドの開口と略一致させると共に、シリンドと直接接合する主板の開口をシリンドの開口と略一致させ、前記主板の間に介挿される副板の開口を前記各開口よりも小さく形成したことを特徴とする金属ガスケット。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、主として自動車用エンジン等の内燃機関のガスケットに適している金属ガスケットに関するものである。

(従来の技術)

第3図は従来の金属ガスケットを装着した内燃機関の水孔部分を示す断面図である。図中1はシリンドヘッド、1aはそのシリンドヘッド1に設

けた水孔、2はシリンド、2aはそのシリンド2に設けた水孔、3はシリンドヘッド1と直接接合する金属ガスケットの主板、4はシリンド2と直接接合する金属ガスケットの主板、5はこれらの主板3、4間に介挿される金属ガスケットの副板であり、6はこれら主板3、4および副板5を重合した金属ガスケットに設けた水孔である。

そしてこの従来の水孔6は、各金属板3、4、5とも同じ大きさで、かつ完全に合致した孔があげられており、通常シリンドヘッド1の水孔1aおよびシリンド2の水孔2aより小さい開口面積になっている。すなわち金属ガスケットにあけられた水孔または油孔は、通常この部分で、冷却水または潤滑油の流量を適切に制御するため、シリンドヘッドおよびシリンドにあけられた孔の開口面積よりも小さい開口面積に設定してある。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら第3図に示すような金属ガスケットの場合は、主板3の上面の水孔6の外周縁部3aが水孔1a内に露出しており、また主板4の下

面の水孔 6 の外周縁部 4 a も水孔 2 a 内に露出しているため、この露出部分が長期間使用中に損傷しやすいという問題点があった。

すなわち主板 3 の上面および主板 4 の下面是直接シリンドヘッド 1 またはシリンド 2 と接合するため、この接合面のシール性能を高めるためにゴム系または弗素系等の種々なシール剤をコーティングして使用することが多いが、このような場合にガスケットとして長期間使用すると、前記したシール剤のコーティング層が剥離したりして、それが冷却水と共に循環する結果、サーモスタッフやラジエター等に付着したりしてオーバーヒートなどのエンジントラブルを引き起す原因になる等という問題点があった。

(問題点を解決するための手段)

上述の問題点を解決するため本発明においては、複数枚の金属板を重合してなる金属ガスケットの水孔または油孔等の開口部において、シリンドヘッドと直接接合する主板の開口をシリンドヘッドの開口と略一致させると共に、シリンドと直接接

合する主板の開口をシリンドの開口と略一致させ、前記主板の間に介挿される副板の開口を前記各開口よりも小さく形成して金属ガスケットを構成する。

(作用)

本発明の金属ガスケットは、シリンドヘッドと直接接合する主板の開口をシリンドヘッドの開口と略一致させると共に、シリンドと直接接合する主板の開口をシリンドの開口と略一致させ、前記主板の間に介挿される副板の開口のみを前記各開口よりも小さく形成したから、シリンドヘッド側の主板およびシリンド側の主板が従来のように水孔内に露出しなくなる。

したがって主板にコーティングしたシール剤が剥離したりして、それが冷却水と共に循環してエンジントラブルを惹起するおそれがなくなる。

(実施例)

以下、図面について本発明の実施例を説明する。第2図は第3図と対応する部分断面図で、図中前記符号と同一の符号は同等のものを示している。

- 3 -

- 4 -

本実施例においては、シリンドヘッド 1 と直接接合する主板 3 の水孔用の開口 7 をシリンドヘッド 1 の水孔 1 a と略一致させると共に、シリンド 2 と直接接合する主板 4 の水孔用の開口 8 をシリンド 2 の水孔 2 a と略一致させ、前記主板 3, 4 の間に介挿される副板 5 の開口 9 を前記各開口 7, 8 よりも小さく形成する。

また第1図(a)(b)(c) は本発明の他の実施例を示すもので、図中 3 はシリンドヘッド側の主板、4 はシリンド側の主板、5 は主板 3, 4 間に介挿する副板である。

そして 10 はシリンド用開口、11 はボルト孔であり、これらのシリンド用開口 10 およびボルト孔 11 は各金属板 3, 4, 5 とも略同じであるが、水孔および油孔は各金属毎にそれぞれ大きさが異なっており、副板 5 の開口が最も小さくなっている。

すなわち 12 は主板 3 の水孔用の開口であり、13 は主板 4 の水孔用の開口であり、14 は副板 5 の水孔用の開口である。

また 15 は主板 3 の油孔用の開口であり、16 は主板 4 の油孔用の開口であり、17 は副板 5 の油孔用の開口である。

そしてこれらの主板 3、副板 5、および主板 4 を重合一体化することにより本発明の金属ガスケットが形成されるのである。

(発明の効果)

本発明の金属ガスケットは、例えば第2図に示すように、シリンドヘッド 1 と直接接合する主板 3 の開口 7 をシリンドヘッド 1 の開口 1 a と略一致させると共に、シリンド 2 と直接接合する主板 4 の開口 8 をシリンド 2 の開口 2 a と略一致させ、前記主板 3, 4 の間に介挿される副板 5 の開口 9 のみを前記各開口 7, 8 よりも小さく形成したから、シリンドヘッド側の主板 3 およびシリンド側の主板 4 が従来のように水孔または油孔等の開口内に露出しなくなる。

したがって本発明によれば、主板にコーティングしたシール剤が剥離したりして、それが冷却水と共に循環してサーモスタッフやラジエター等に

- 5 -

- 6 -

付着したりする結果、オーバーヒートなどのエンジントラブルを惹起する等というおそれがなくなるというすぐれた効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)(b)(c)は本発明の金属ガスケットを構成する各金属板の平面図、

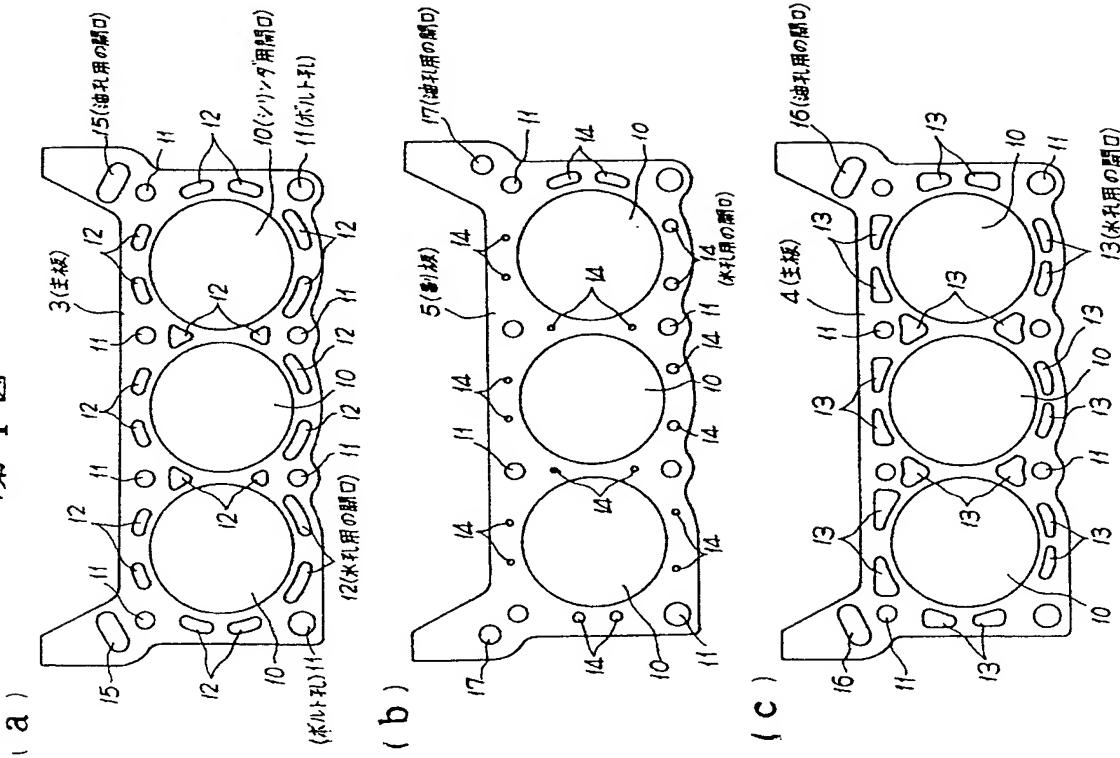
第2図は本発明金属ガスケットを装着したエンジンの水孔用開口部を示す断面図、

第3図は従来の金属ガスケットを装着したエンジンの水孔用開口部を示す断面図である。

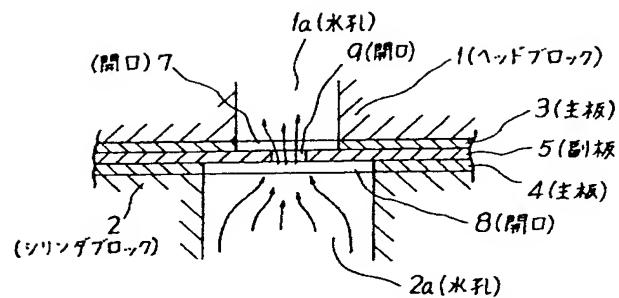
1 … シリンダヘッド	1 a … 水孔
2 … シリンダ	2 a … 水孔
3, 4 … 主板	5 … 副板
7, 8, 9 … 開口	10 … シリンダ用開口
11 … ボルト孔	
12, 13, 14 … 水孔用の開口	
15, 16, 17 … 油孔用の開口	

- 7 -

第1図



第 2 図



第 3 図

